

平成25年度
事業棚卸し

評価結果

平成25年9月27日

コーディネーター

細井 由彦

評 価 者

小野 達也

蔵増 保則

野津あきこ

安達 庸

大津 優衣

田中 裕太

福田 英寿

目 次

1	評価結果	1
2	評価結果集計表（事業別）	3
 (参考)		
1	事業棚卸しの目的	17
2	実施体制	17
3	評価対象事業の選定	17
4	評価の方法	18
5	評価スケジュール	19
6	傍聴者数	19
7	評価者からの意見	19
8	傍聴者アンケートの結果	20
9	コーディネーター・評価者名簿	21

評 価 結 果

◆現状どおり (拡充含む)	0 事業
◆改善継続	1 0 事業
◆抜本的見直し (廃止含む)	2 事業
<hr/>	
計	1 2 事業

平成25年度事業棚卸し 評価結果一覧

番号	課名	事業名	事業費(千円) (トータルコスト)	採点結果(3点満点)			評価結果			総括コメント	
				必要性	効果性	実施主体	現状どおり (拡充含む)	改善継続	抜本的見直し (廃止含む)		
1	未来づくり推進局 鳥取県創造課	とっとり県民の日 総合推進事業	1,957 (6,723)	2.4	1.4	2.0			○	愛郷心の向上に向けた取組はとても重要であるが、これまでの取組の効果について、事業内容にふさわしい方法で十分な効果測定ができていない状況にある。そのため、適切な効果測定を実施するとともに、教育委員会や市町村・民間事業者との連携等、一層効果的、戦略的な取組について検討する必要がある。	
2	総務部 財源確保推進課	ふるさと納税促進 事業	19,068 (21,451)	2.7	2.4	1.9			○	県の財源確保と県産品のPR・鳥取県の認知度向上の取組として必要性は高く、納税されたお金も有効に活用されている。ただし、ふるさと納税制度では県と市町村が競合する関係にあることから、県全体として財源確保やPRが効果的にできるよう、市町村と一層の連携を図る必要がある。	
3	総務部 人権・同和対策課	人権啓発教育事業費 (人権啓発広報事業費)	7,625 (17,158)	2.9	1.7	2.6			○	啓発ラジオ番組は充実した質の高いものが作成されており、放送時だけでなく、録音したものをインターネットでの配信や、学校現場での教材としての活用など、その有効な活用について検討されたい。また、人権研修等への参加率が低い子育て世代である20～30代への効果的な啓発方法の工夫が必要である。	
4	危機管理 局 危機対策・情報課	災害時情報等の提供 方法									
		24時間災害等 初動対応推進 事業	8,814 (26,291)	2.9	2.3	2.7			○	あんしんトリプメールは、災害時の情報提供として重要なツールとなっており登録者数を増やしていくことが、事業効果を高めることになるため、更に登録を増やす取組が必要である。また、災害時の情報提供に当たっては、トリプメールのみならず、市町村との連携や提供される情報とユーザー側の使い勝手、特に高齢者等にとって、わかりやすく効果的な情報提供の手法を検討する必要がある。	
		あんしんトリ プメールシス テム等運営事 業	3,179 (11,123)	2.9	2.0	2.6			○		
5	福祉保健 部 子育て応援課	とっとりイクメン プロジェクト推進 事業(男性の育児 休業促進奨励金の 支給)	3,000 (3,794)	2.4	1.3	2.4			○	男性の育児参加を推進する取組自体は重要であるが、現在の男性への育児休業促進奨励金制度は実績から見ても効果的とは認められない。奨励金支給実績や雇用者側および被雇用者側のニーズなどについて十分な分析を行い、男性の育児参加を進めるため、より効果的な制度・手法を抜本的に検討すべきである。	
6	地域振興 部 男女共同参画推進課	男女共同参画推進 企業認定事業	4,731 (12,675)	2.9	1.9	2.6			○	民間企業に男女共同参画の取組を促進する制度として重要であるが、取組の成果や、近年、認定企業が伸び悩んでいる現状などについて、企業の声を聞くなどのデータの取得・分析が十分にできていない状況にある。そのため、現状を分析し、未認定企業に対して効果的な働きかけを行うとともに、単に認定するだけではなく認定後の企業のフォローを行って男女共同参画の意識の定着を図る必要がある。	
7	生活環境 部 緑豊かな自然課	山陰海岸世界ジオ パークネットワーク 推進事業	69,076 (100,058)	2.7	2.3	2.3			○	山陰海岸の地質遺産を教育・学術、環境、観光・地域振興に活用する取組であり、期待も大きい。現段階で事業の成果測定は十分ではないが、具体的な成果指標を設定し、「保全」と「活用」の両面に配慮しながら取組を一層推進していただきたい。また、関係自治体も多く組織的に効果が発揮できるよう取り組んでいただきたい。	
8	商工労働 部 経済産業 総室	とっとり発ベン チャー企業創出・ 育成総合支援事業	78,410 (79,999)	2.7	1.6	2.3			○	事業開始から間がないことから、現時点での事業評価は難しく、2、3年後にしっかりと効果測定を行う必要がある。この制度を活用している事業者の要望・意見をよく把握し、支援内容の見直しやフォローアップを含め細やかな支援、指導を行っていただきたい。	
9	農林水産 部 市場開拓 課 食のみやこ推進課 農政課	食のみやこ鳥取県 の取組									
		「食のみやこ鳥 取県」首都圏メ ディアキャン ペーン事業	66,429 (82,317)	2.7	1.9	2.6			○	情報発信効果の高い首都圏でのキャンペーンは非常に重要である。ただし、県産品の県内での認知度向上の取組を併せて行うことも必要である。具体的な成果目標を設定し、数年後には定量的・定性的な効果測定を実施する必要がある。	
		食のみやこ鳥 取県推進事業 (発見・体験 「食のみやこ」 推進事業)	32,289 (64,859)	3.0	2.4	2.7			○	鳥取県の産業振興に向け重要な事業であり、当初の成果目標である推進サポーターの登録数や学校給食の県産食材使用率は順調に推移しているが、より戦略的な成果目標の設定を行い、更に強力に進めていただきたい。	
		食のみやこ鳥 取県フェスタ等 開催費	6,783 (12,344)	2.4	2.1	1.7			○	近年、県内各地で食に関するイベントが数多く開催されていることから、これら各地の事業とフェスタを一連の事業として位置付け、地域の特徴を活かしたイベントとすることなどにより、県も一定の関与をしつつ、市町村や民間・経済団体に実施主体を移行していくことが適当と考える。なお、関連イベントには「食のみやこ」を冠することで、引き続き「食のみやこ鳥取県」の定着を図る取組とする必要がある。	

評価結果集計表（事業別）

事業棚卸し評価結果集計表

事業番号	1	事業名	とっとり県民の日総合推進事業
------	---	-----	----------------

【採点結果】

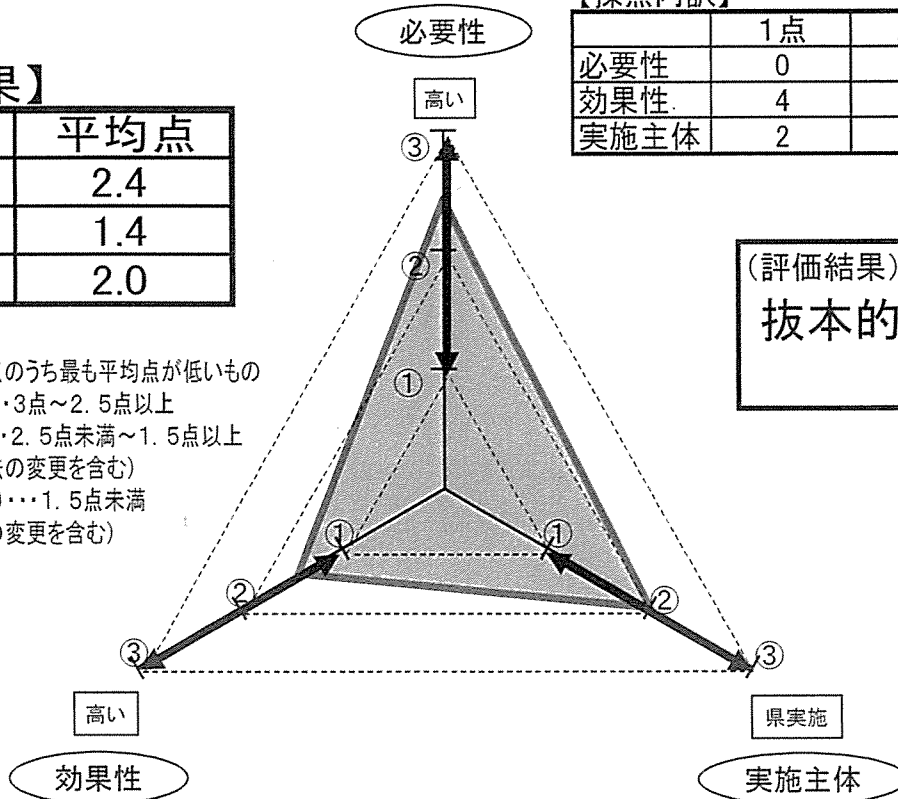
	平均点
必要性	2.4
効果性	1.4
実施主体	2.0

【採点内訳】

(単位:人)

	1点	2点	3点
必要性	0	4	3
効果性	4	3	0
実施主体	2	3	2

【評価の目安】: 3つの視点のうち最も平均点が低いもの
 ・現状どおり(拡充含む)・・・3点~2.5点以上
 ・改善継続・・・2.5点未満~1.5点以上
 (民間委託等の実施手法の変更を含む)
 ・抜本的見直し(廃止含む)・・・1.5点未満
 (県以外への実施主体の変更を含む)



【総括】

- ・愛郷心の向上に向けた取組はとても重要であるが、これまでの取組の効果について、事業内容にふさわしい方法で十分な効果測定ができていない状況にある。
- ・そのため、適切な効果測定を実施するとともに、教育委員会や市町村・民間事業者との連携等、一層効果的、戦略的な取組について検討する必要がある。

事業棚卸し評価結果集計表

事業番号	2	事業名	ふるさと納税促進事業
------	---	-----	------------

【採点結果】

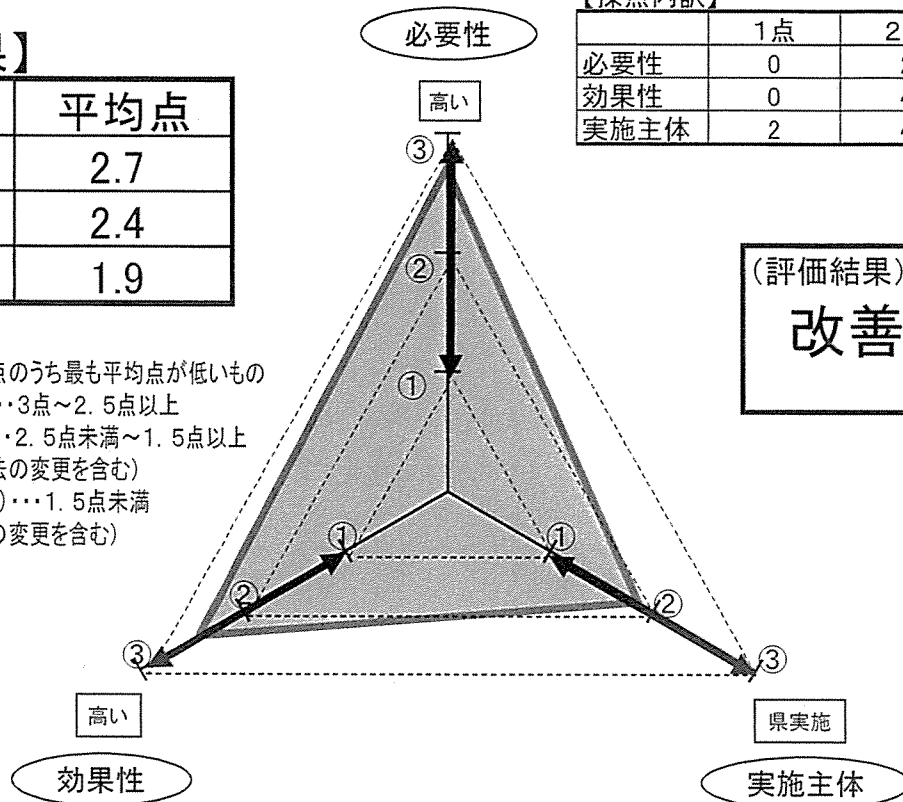
	平均点
必要性	2.7
効果性	2.4
実施主体	1.9

【採点内訳】

(単位:人)

	1点	2点	3点
必要性	0	2	5
効果性	0	4	3
実施主体	2	4	1

【評価の目安】：3つの視点のうち最も平均点が低いもの
 ・現状どおり(拡充含む)・・・3点～2.5点以上
 ・改善継続・・・2.5点未満～1.5点以上
 (民間委託等の実施手法の変更を含む)
 ・抜本的見直し(廃止含む)・・・1.5点未満
 (県以外への実施主体の変更を含む)



【総括】

- ・県の財源確保と県産品のPR・鳥取県の認知度向上の取組として必要性は高く、納税されたお金も有効に活用されている。
- ・ただし、ふるさと納税制度では県と市町村が競合する関係にあることから、県全体として財源確保やPRが効果的にできるよう、市町村と一層の連携を図る必要がある。

事業棚卸し評価結果集計表

事業番号	3	事業名	人権啓発教育事業費(人権啓発広報事業費)
------	---	-----	----------------------

【採点結果】

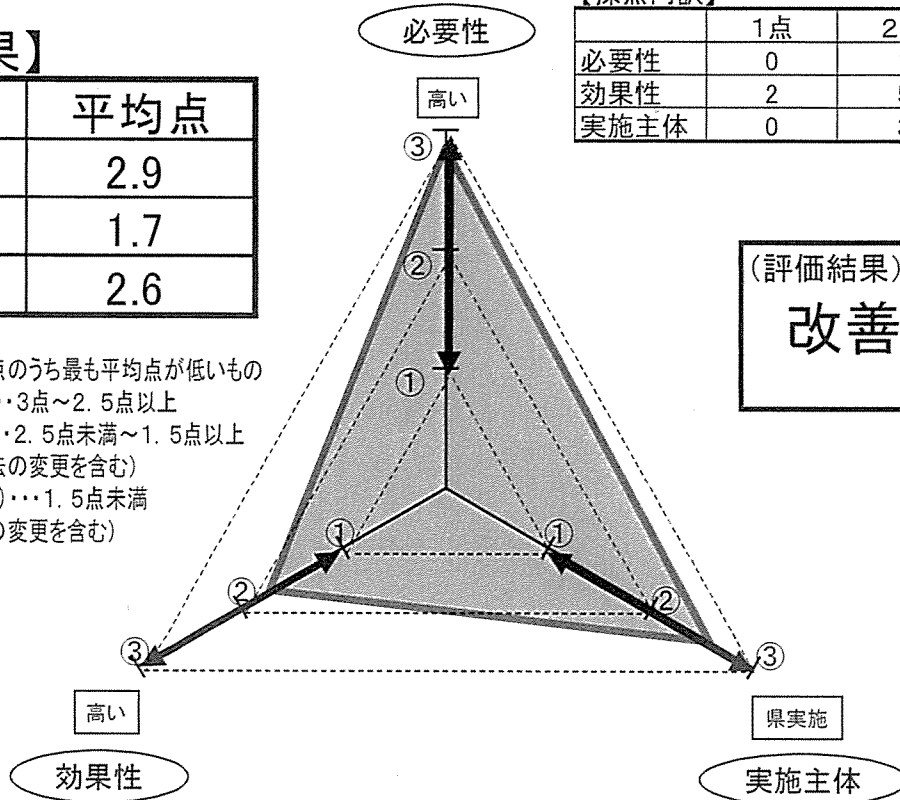
	平均点
必要性	2.9
効果性	1.7
実施主体	2.6

【採点内訳】

(単位:人)

	1点	2点	3点
必要性	0	1	6
効果性	2	5	0
実施主体	0	3	4

【評価の目安】：3つの視点のうち最も平均点が低いもの
 ・現状どおり(拡充含む)・・・3点～2.5点以上
 ・改善継続・・・2.5点未満～1.5点以上
 (民間委託等の実施手法の変更を含む)
 ・抜本的見直し(廃止含む)・・・1.5点未満
 (県以外への実施主体の変更を含む)



(評価結果)
改善継続

【総括】

- ・啓発ラジオ番組は充実した質の高いものが作成されており、放送時だけでなく、録音したものをインターネットでの配信や、学校現場での教材としての活用など、その有効な活用について検討されたい。
- ・また、人権研修等への参加率が低い子育て世代である20～30代への効果的な啓発方法の工夫が必要である。

事業棚卸し評価結果集計表

事業番号	4①	事業名	災害時情報等の提供方法①(24時間災害等初動対応推進事業)
------	----	-----	-------------------------------

【採点結果】

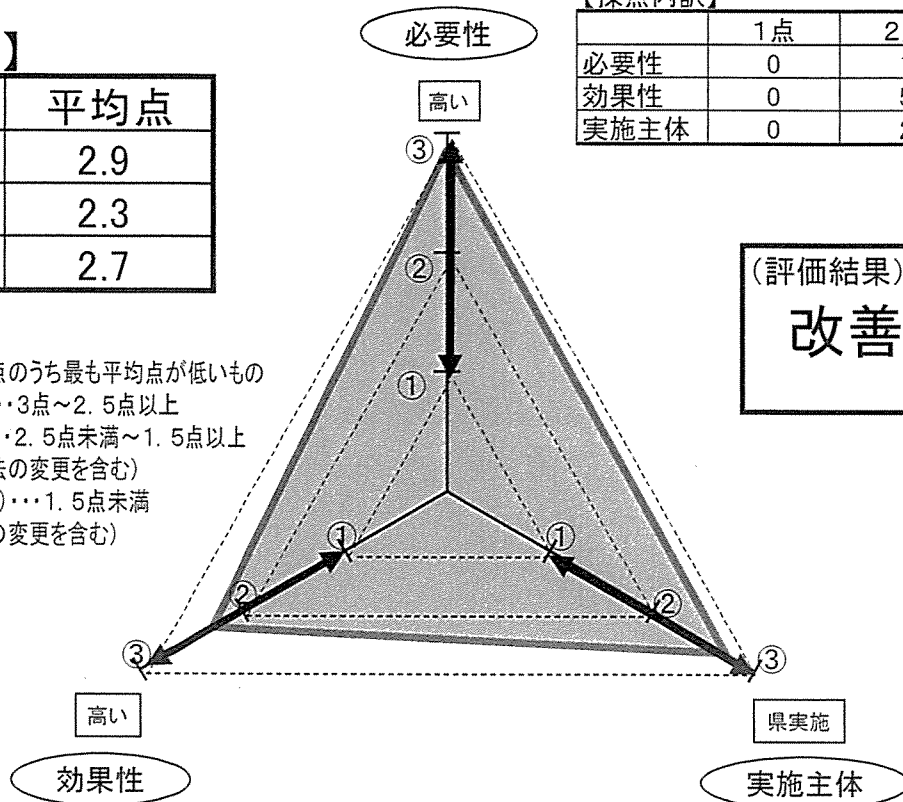
	平均点
必要性	2.9
効果性	2.3
実施主体	2.7

【採点内訳】

(単位:人)

	1点	2点	3点
必要性	0	1	6
効果性	0	5	2
実施主体	0	2	5

- 【評価の目安】：3つの視点のうち最も平均点が低いもの
- ・現状どおり(拡充含む)・・・3点～2.5点以上
 - ・改善継続・・・2.5点未満～1.5点以上
(民間委託等の実施手法の変更を含む)
 - ・抜本的見直し(廃止含む)・・・1.5点未満
(県以外への実施主体の変更を含む)



【総括】

- ・あんしんトリピーメールは、災害時の情報提供として重要なツールとなっており登録者数を増やしていくことが、事業効果を高めることになるため、更に登録を増やす取組が必要である。
- ・また、災害時の情報提供に当たっては、トリピーメールのみならず、市町村との連携や提供される情報とユーザー側の使い勝手、特に高齢者等にとって、わかりやすく効果的な情報提供の手法を検討する必要がある。

事業棚卸し評価結果集計表

事業番号	4②	事業名	災害時情報等の提供方法②(あんしんトリビュートメールシステム等運営事業)
------	----	-----	--------------------------------------

【採点結果】

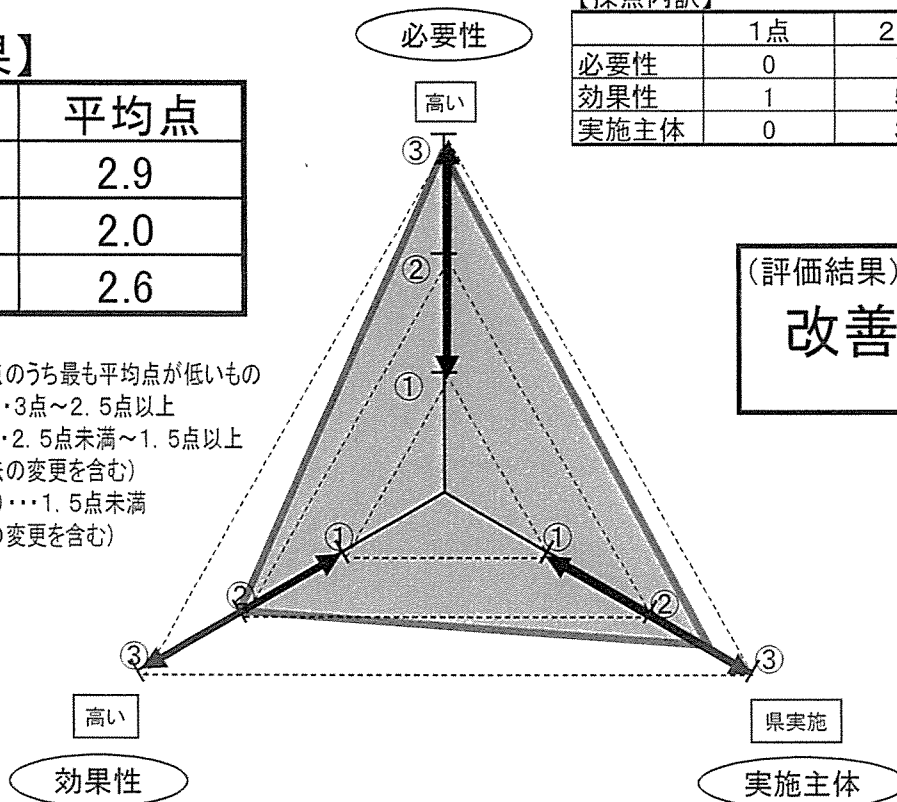
	平均点
必要性	2.9
効果性	2.0
実施主体	2.6

【採点内訳】

(単位:人)

	1点	2点	3点
必要性	0	1	6
効果性	1	5	1
実施主体	0	3	4

【評価の目安】：3つの視点のうち最も平均点が低いもの
 ・現状どおり(拡充含む)・・・3点～2.5点以上
 ・改善継続・・・2.5点未満～1.5点以上
 (民間委託等の実施手法の変更を含む)
 ・抜本的見直し(廃止含む)・・・1.5点未満
 (県以外への実施主体の変更を含む)



(評価結果)
改善継続

【総括】

※4①の総括欄で4②も一括して記載

事業棚卸し評価結果集計表

事業番号	5	事業名	とっとりイクメンプロジェクト推進事業(男性の育児休業促進奨励金の支給)
------	---	-----	-------------------------------------

【採点結果】

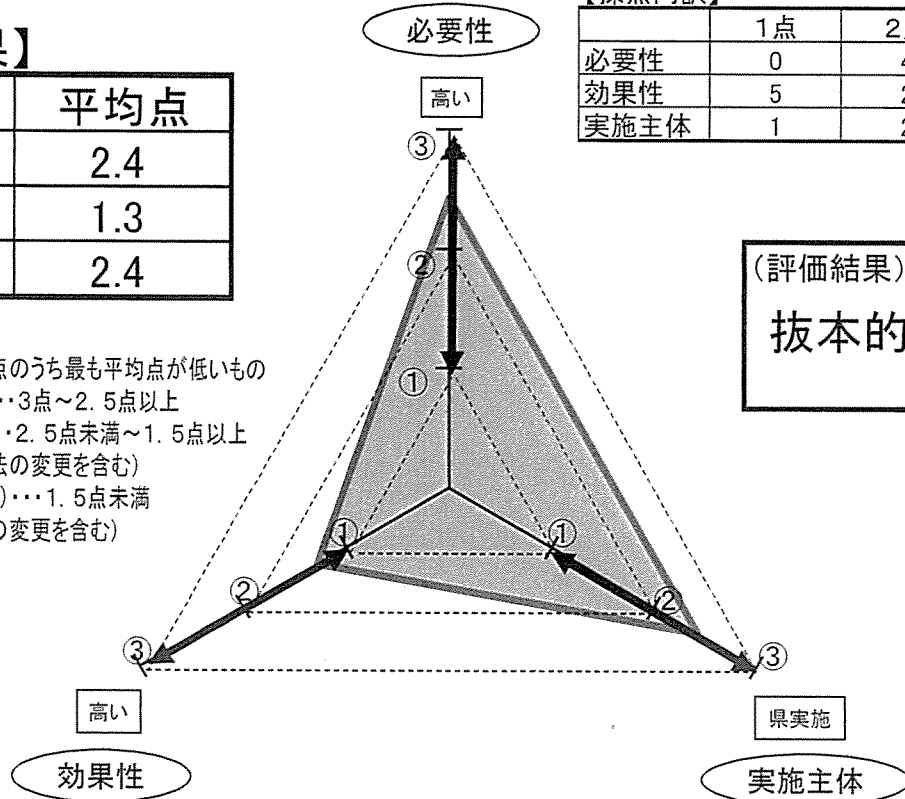
	平均点
必要性	2.4
効果性	1.3
実施主体	2.4

【採点内訳】

(単位:人)

	1点	2点	3点
必要性	0	4	3
効果性	5	2	0
実施主体	1	2	4

【評価の目安】：3つの視点のうち最も平均点が低いもの
 ・現状どおり(拡充含む)・・・3点～2.5点以上
 ・改善継続・・・2.5点未満～1.5点以上
 (民間委託等の実施手法の変更を含む)
 ・抜本的見直し(廃止含む)・・・1.5点未満
 (県以外への実施主体の変更を含む)



(評価結果)

抜本的見直し

【総括】

- ・男性の育児参加を推進する取組自体は重要であるが、現在の男性への育児休業促進奨励金制度は実績から見ても効果的とは認められない。
- ・奨励金支給実績や雇用者側および被雇用者側のニーズなどについて十分な分析を行い、男性の育児参加を進めるため、より効果的な制度・手法を抜本的に検討すべきである。

事業棚卸し評価結果集計表

事業番号	6	事業名	男女共同参画推進企業認定事業
------	---	-----	----------------

【採点結果】

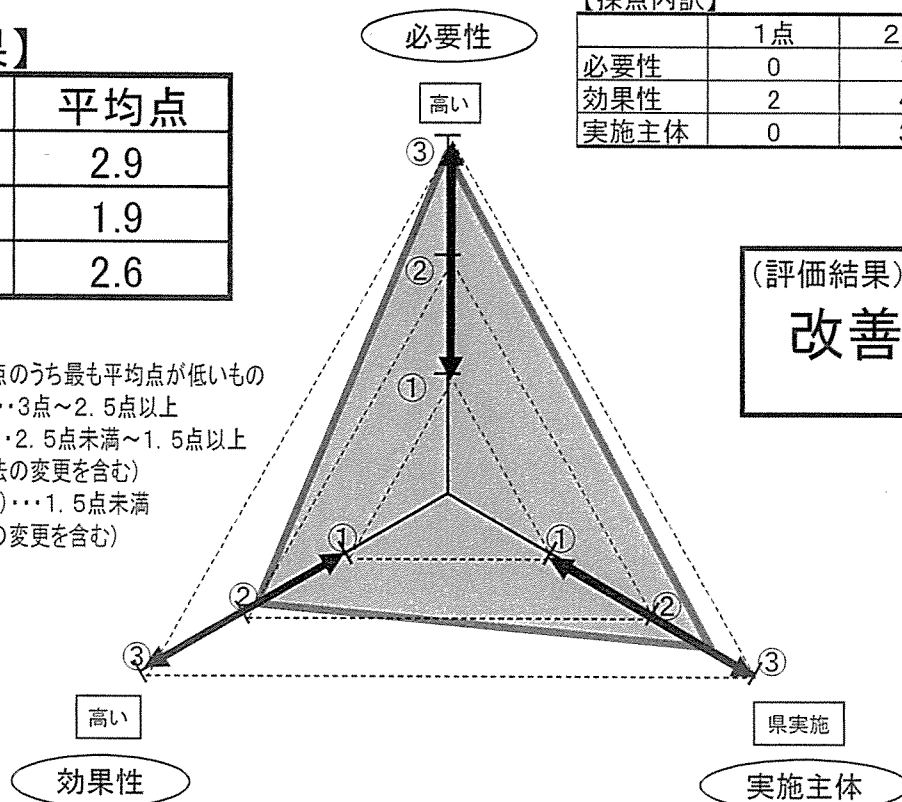
	平均点
必要性	2.9
効果性	1.9
実施主体	2.6

【採点内訳】

(単位:人)

	1点	2点	3点
必要性	0	1	6
効果性	2	4	1
実施主体	0	3	4

【評価の目安】：3つの視点のうち最も平均点が低いもの
 ・現状どおり(拡充含む)・・・3点～2.5点以上
 ・改善継続・・・2.5点未満～1.5点以上
 (民間委託等の実施手法の変更を含む)
 ・抜本的見直し(廃止含む)・・・1.5点未満
 (県以外への実施主体の変更を含む)



(評価結果)
改善継続

【総括】

- ・民間企業に男女共同参画の取組を促進する制度として重要であるが、取組の成果や、近年、認定企業が伸び悩んでいる現状などについて、企業の声聞くなどのデータの取得・分析が十分にできていない状況にある。
- ・そのため、現状を分析し、未認定企業に対して効果的な働きかけを行うとともに、単に認定するだけではなく認定後の企業のフォローを行って男女共同参画の意識の定着を図る必要がある。

事業棚卸し評価結果集計表

事業番号	7	事業名	山陰海岸世界ジオパークネットワーク推進事業
------	---	-----	-----------------------

【採点結果】

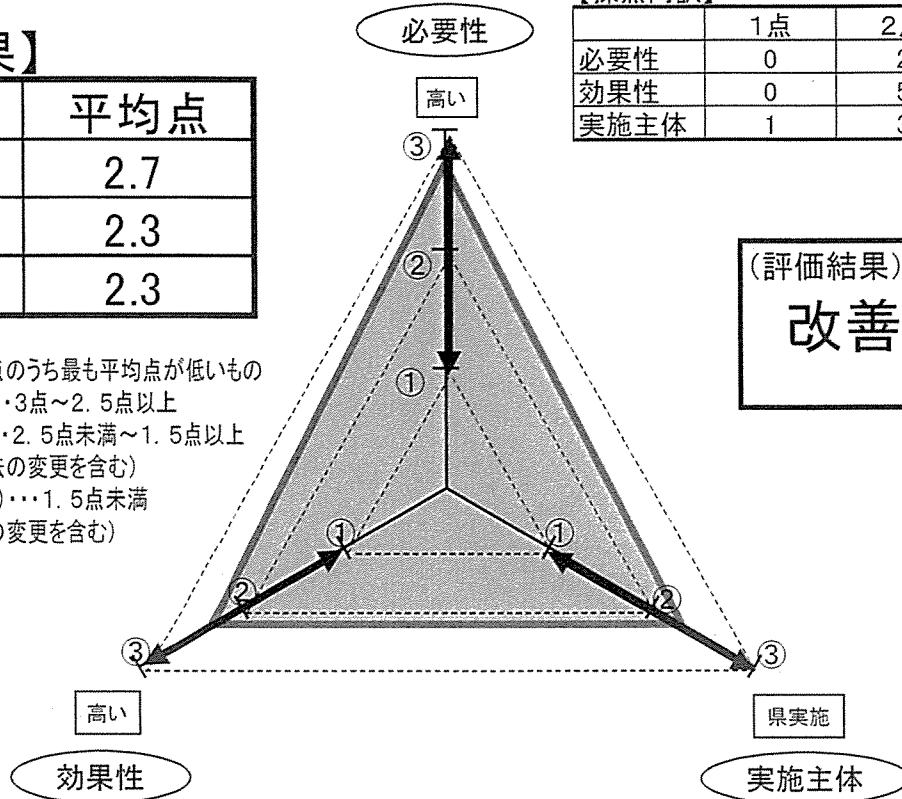
	平均点
必要性	2.7
効果性	2.3
実施主体	2.3

【採点内訳】

(単位:人)

	1点	2点	3点
必要性	0	2	5
効果性	0	5	2
実施主体	1	3	3

- 【評価の目安】：3つの視点のうち最も平均点が低いもの
- ・現状どおり(拡充含む)・・・3点～2.5点以上
 - ・改善継続・・・2.5点未満～1.5点以上
(民間委託等の実施手法の変更を含む)
 - ・抜本的見直し(廃止含む)・・・1.5点未満
(県以外への実施主体の変更を含む)



(評価結果)

改善継続

【総括】

・山陰海岸の地質遺産を教育・学術、環境、観光・地域振興に活用する取組であり、期待も大きい。現段階で事業の成果測定は十分ではないが、具体的な成果指標を設定し、「保全」と「活用」の両面に配慮しながら取組を一層推進していただきたい。

・また、関係自治体も多く組織的に効果が発揮できるよう取り組んでいただきたい。

事業棚卸し評価結果集計表

事業番号	8	事業名	とっとり発ベンチャー企業創出・育成総合支援事業
------	---	-----	-------------------------

【採点結果】

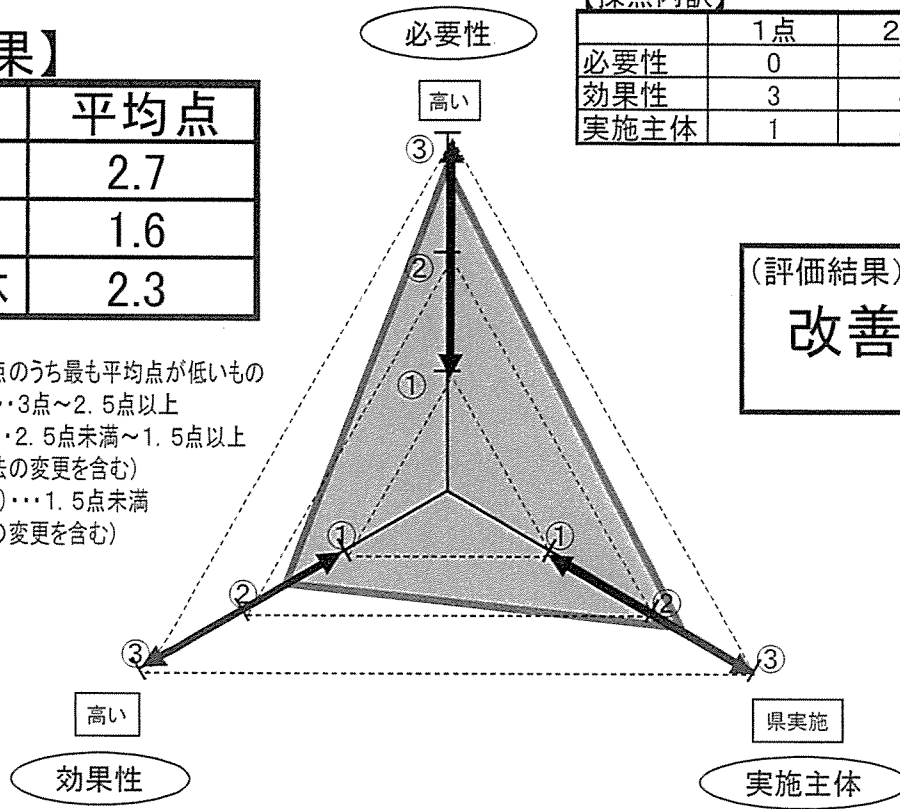
	平均点
必要性	2.7
効果性	1.6
実施主体	2.3

【採点内訳】

(単位:人)

	1点	2点	3点
必要性	0	2	5
効果性	3	4	0
実施主体	1	3	3

- 【評価の目安】：3つの視点のうち最も平均点が低いもの
- ・現状どおり(拡充含む)・・・3点～2.5点以上
 - ・改善継続・・・2.5点未満～1.5点以上
(民間委託等の実施手法の変更を含む)
 - ・抜本的見直し(廃止含む)・・・1.5点未満
(県以外への実施主体の変更を含む)



【総括】

- ・事業開始から間がないことから、現時点での事業評価は難しく、2～3年後にしっかりと効果測定を行う必要がある。
- ・この制度を活用している事業者の要望・意見をよく把握し、支援内容の見直しやフォローアップを含め細やかな支援、指導を行っていただきたい。

事業棚卸し評価結果集計表

事業番号	9①	事業名	食のみやこ鳥取県の取組①(「食のみやこ鳥取県」首都圏メディアキャンペーン事業)
------	----	-----	---

【採点結果】

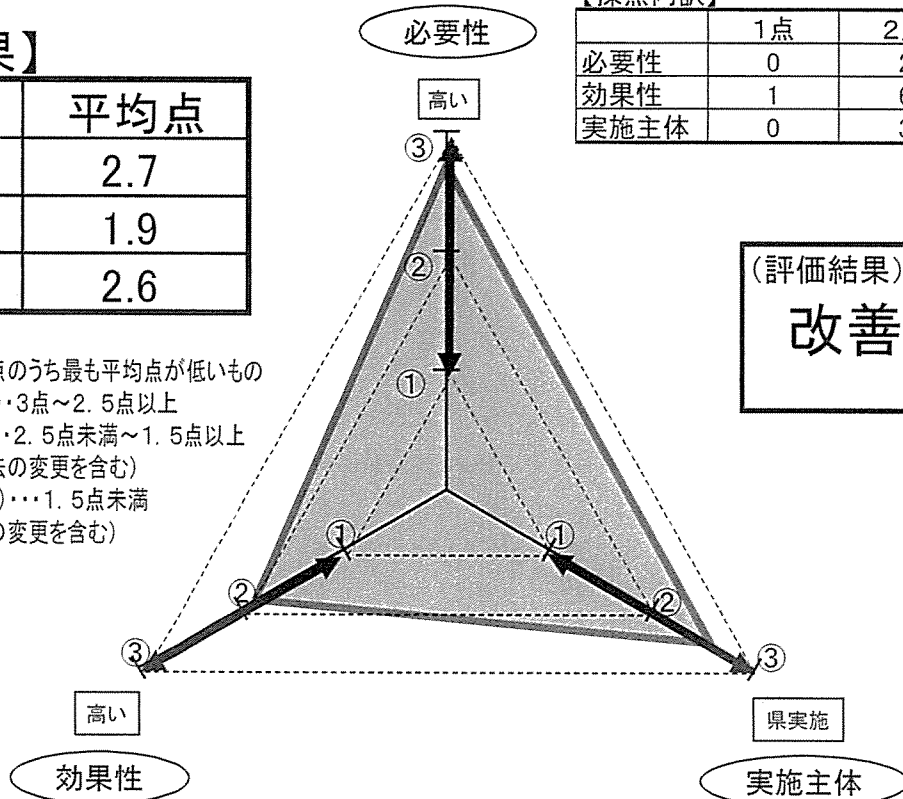
	平均点
必要性	2.7
効果性	1.9
実施主体	2.6

【採点内訳】

(単位:人)

	1点	2点	3点
必要性	0	2	5
効果性	1	6	0
実施主体	0	3	4

【評価の目安】：3つの視点のうち最も平均点が低いもの
 ・現状どおり(拡充含む)・・・3点～2.5点以上
 ・改善継続・・・2.5点未満～1.5点以上
 (民間委託等の実施手法の変更を含む)
 ・抜本的見直し(廃止含む)・・・1.5点未満
 (県以外への実施主体の変更を含む)



(評価結果)

改善継続

【総括】

- ・情報発信効果の高い首都圏でのキャンペーンは非常に重要である。
- ・ただし、県産品の県内での認知度向上の取組を併せて行うことも必要である。
- ・具体的な成果目標を設定し、数年後には定量的・定性的な効果測定を実施する必要がある。

事業棚卸し評価結果集計表

事業番号	9②	事業名	食のみやこ鳥取県の取組②(食のみやこ鳥取県推進事業(発見・体験「食のみやこ」推進事業))
------	----	-----	--

【採点結果】

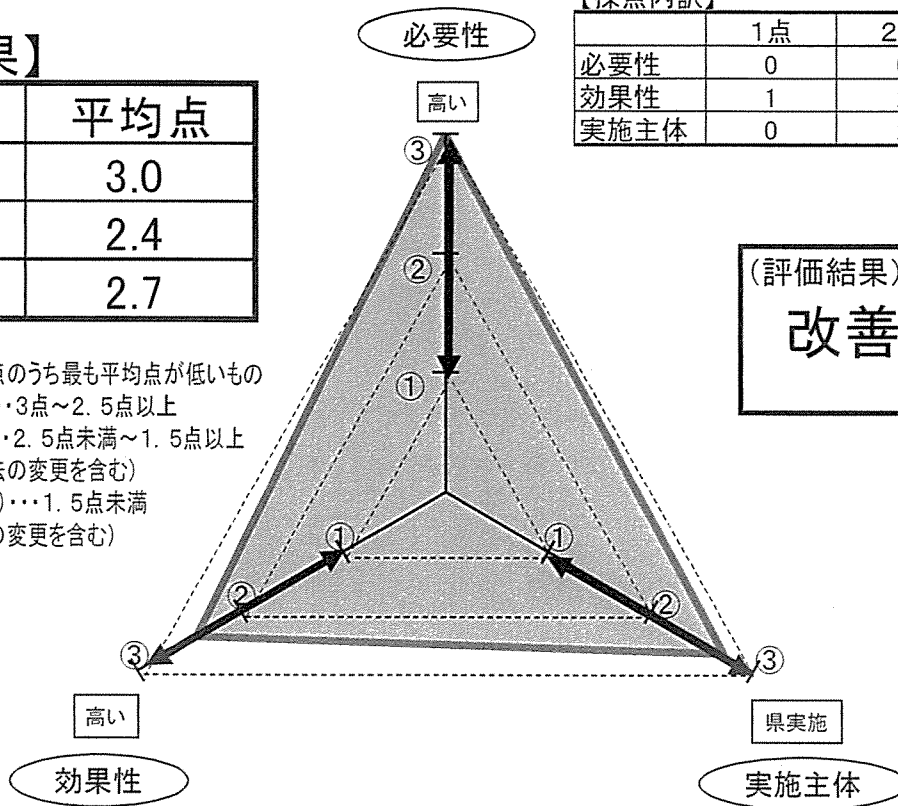
	平均点
必要性	3.0
効果性	2.4
実施主体	2.7

【評価の目安】：3つの視点のうち最も平均点が低いもの
 ・現状どおり(拡充含む)・・・3点～2.5点以上
 ・改善継続・・・2.5点未満～1.5点以上
 (民間委託等の実施手法の変更を含む)
 ・抜本的見直し(廃止含む)・・・1.5点未満
 (県以外への実施主体の変更を含む)

【採点内訳】

(単位:人)

	1点	2点	3点
必要性	0	0	7
効果性	1	2	4
実施主体	0	2	5



【総括】

・鳥取県の産業振興に向け重要な事業であり、当初の成果目標である推進サポーターの登録数や学校給食の県産食材使用率は順調に推移しているが、より戦略的な成果目標の設定を行い、更に強力に進めていただきたい。

事業棚卸し評価結果集計表

事業番号	9③	事業名	食のみやこ鳥取県の取組③(食のみやこ鳥取県フェスタ等開催費)
------	----	-----	--------------------------------

【採点結果】

	平均点
必要性	2.4
効果性	2.1
実施主体	1.7

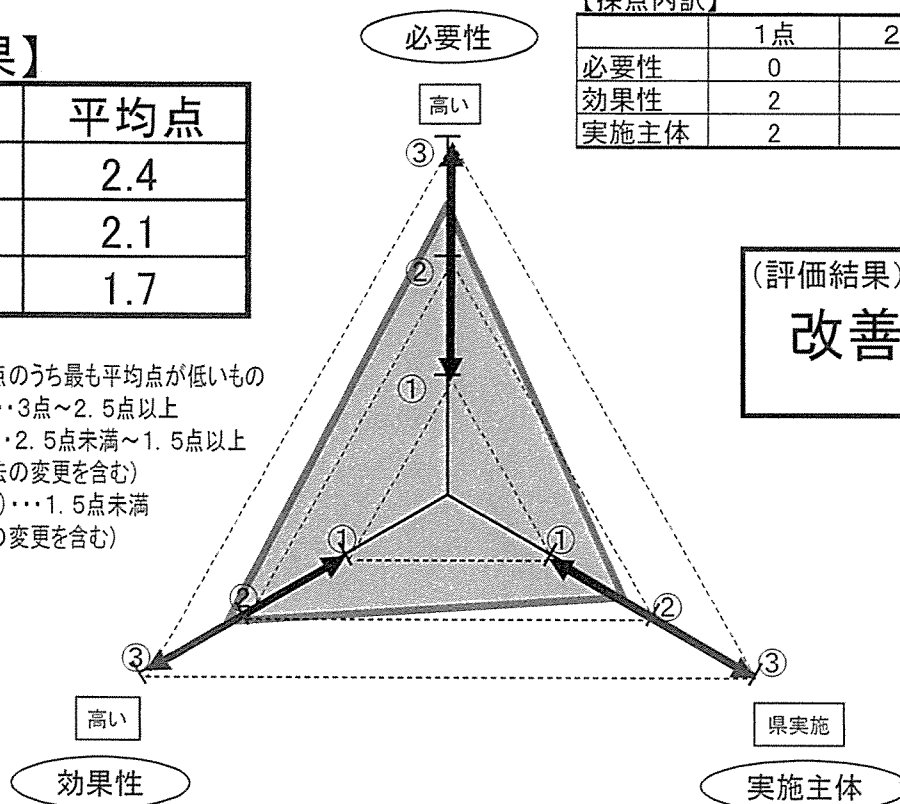
【採点内訳】 (単位:人)

	1点	2点	3点
必要性	0	4	3
効果性	2	2	3
実施主体	2	5	0

(評価結果)

改善継続

- 【評価の目安】: 3つの視点のうち最も平均点が低いもの
- ・現状どおり(拡充含む)・・・3点~2.5点以上
 - ・改善継続・・・2.5点未満~1.5点以上
(民間委託等の実施手法の変更を含む)
 - ・抜本的見直し(廃止含む)・・・1.5点未満
(県以外への実施主体の変更を含む)



【総括】

・近年、県内各地で食に関するイベントが数多く開催されていることから、これら各地の事業とフェスタを一連の事業として位置付け、地域の特徴を活かしたイベントとすることなどにより、県も一定の関与をしつつ、市町村や民間・経済団体に実施主体を移行していくことが適当と考える。

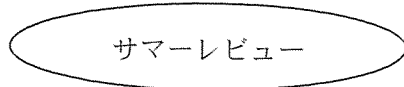
・なお、関連イベントには「食のみやこ」を冠することで、引き続き「食のみやこ鳥取県」の定着を図る取組とする必要がある。

【 参 考 】

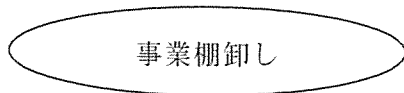
1 事業棚卸しの目的

全庁的に、限られた資源の有効活用、業務の効率化に取り組む中で、従来の工程表の作成・運用、サマーレビューといった内部の視点による予算事業の点検に加え、外部の視点による予算事業の点検を実施して、今後の予算の編成作業に活用することを目的としています。

【内部の視点による点検】



【外部の視点による点検】



予算編成

2 実施体制

(評価体制)

コーディネーター1名
評価者7名(有識者委員3名、県民委員4名)
※県民委員・・・公募により選任した委員

事業棚卸し
・日時：平成25年8月31日～9月1日 午前9時30分～午後4時50分
・場所：議会棟別館3階 第4委員会室 ※インターネットによる同時配信を実施。

3 評価対象事業の選定

平成25年度の県のすべての事業(以下を除く)を対象とし、以下の視点から、評価者会議において12事業を選定しました。

※原則として、事業棚卸しの対象から除くもの

<ul style="list-style-type: none"> 平成25年度の新規事業 予算額が比較的少額の事業(トータルコストが100万円未満) 他の方法で外部の評価を受けている事業
--

※事業選定の視点

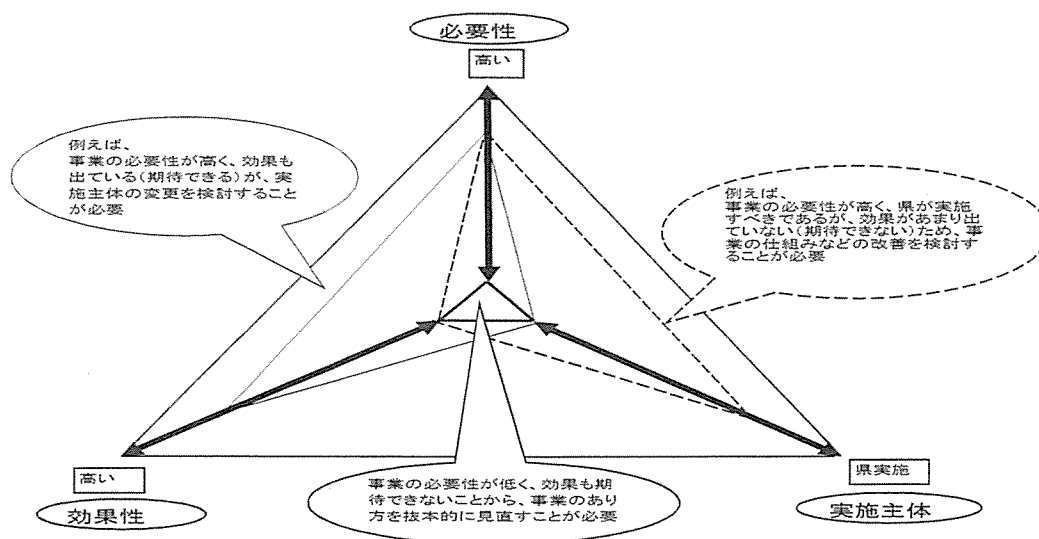
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の実績等が低調であり、事業継続の検証が必要なもの 事業開始後一定期間経過し、事業効果の検証が必要なもの
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 県関与のあり方の検証が必要なもの 目的を達成する手段として有効か検証が必要なもの
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 県と市町村・団体との役割分担等の検証が必要なもの 費用対効果の検証が必要なもの

No.	事業名	所属名
1	とっとり県民の日総合推進事業	未来づくり推進局 鳥取力創造課
2	ふるさと納税促進事業	総務部 財源確保推進課
3	人権啓発教育事業費（人権啓発広報事業費）	総務部 人権・同和対策課
4	災害時情報等の提供方法 ・24時間災害等初動対応推進事業 ・あんしんトリピーメールシステム等運営事業	危機管理局 危機対策・情報課
5	とっとりイクメンプロジェクト推進事業（男性の育児休業促進奨励金の支給）	福祉保健部 子育て応援課
6	男女共同参画推進企業認定事業	地域振興部 男女共同参画推進課
7	山陰海岸世界ジオパークネットワーク推進事業	生活環境部 緑豊かな自然課
8	とっとり発ベンチャー企業創出・育成総合支援事業	商工労働部 経済産業総室
9	食のみやこ鳥取県の取組 ・「食のみやこ鳥取県」首都圏メディアキャンペーン事業 ・食のみやこ鳥取県推進事業（発見・体験「食のみやこ」推進事業） ・食のみやこ鳥取県フェスタ等開催費	農林水産部 市場開拓課 食のみやこ推進課 農政課

4 評価の方法

- (1) 1事業あたりの所要時間を原則100分（事前調査30分、棚卸し当日70分）とし、事業の要・不要だけでなく、事業の見直しの方向性、改善の方向性も含めて提案・提言します。
- (2) 対象事業の必要性は高いか、その実施方法は効果的なものとなっているか、最適な実施主体はどこか、といった視点から評価を行います。
- (3) 評価結果は3段階（現状どおり（拡充含む）、改善継続、抜本的見直し（廃止含む））で行い、評価者の意見を基に、評価結果をとりまとめました。

※評価のイメージ



5 評価スケジュール

評価者会議	開催日	内容等
第1回	平成25年6月8日	事業選定の視点、評価の進め方等の検討
第2回	平成25年7月2日	対象事業の選定
第3回	平成25年8月5日	事業課を交えた対象事業内容の事前調査、 棚卸し当日の進め方等の確認
最終会議	平成25年8月31日 ～9月1日	評価実施

6 傍聴者数

(1) 来場者数

8/31(土)	20名
9/1(日)	12名
計	32名

(2) インターネットライブ中継アクセス数(延べ数)

8/31(土)	106
9/1(日)	119
計	225

7 評価者からの意見

今回の評価者から寄せられた意見の主なものは以下のとおりでした。

①評価対象事業の選定	<ul style="list-style-type: none"> ・複数委員が候補とした事業をもとに絞り込んだが、それ以外にも検討に値するものもあり、更に評価者が議論して選定しても良かった。 ・結果として、評価に時期尚早であったもの、結論が見えているもの、論点が深まらないものなどがあったため、事業選定にあたっては工夫が必要。
②評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・「抜本的見直し」という表現は、評価者からのアドバイスであり、叱咤激励と受け止めてほしい。 ・三段階評価は評価を行いやすいが、「廃止」評価を行うには、4段階あるいは5段階評価にしたほうが良いかもしれない。
③その他	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の無駄遣い部分を認知しているのは県庁職員であり、部局や課ごと相互に評価する仕組みを整えるべき。 ・「オープンに」という考えは理解できるが、インターネット配信などのショーにまでもする必要はないのではないか。 ・県職員が情熱的であり、県庁に対する見方が変わった。

8 傍聴者アンケートの結果

来場者を対象に行ったアンケートの結果の主なものは次のとおりでした。

<p>①事業棚卸しに用いた資料</p>	<table border="1"> <tr><td>1</td><td>とても分かりやすかった</td><td>18.2%</td></tr> <tr><td>2</td><td>分かりやすかった</td><td>36.4%</td></tr> <tr><td>3</td><td>どちらともいえない</td><td>36.4%</td></tr> <tr><td>4</td><td>分かりにくかった</td><td>9.1%</td></tr> <tr><td>5</td><td>とても分かりにくかった</td><td>0%</td></tr> </table>	1	とても分かりやすかった	18.2%	2	分かりやすかった	36.4%	3	どちらともいえない	36.4%	4	分かりにくかった	9.1%	5	とても分かりにくかった	0%	<p>事業棚卸しの配布資料</p> <p>・ 実際利用されたパンフレットやチラシが添付されており、わかりやすかった。 ・ 文字が小さく見づらいものがあった。 ・ 何がどこに記載されているのか、一覧表があるとわかりやすい。 ・ データが記載されているのはいいが、あまり統計に詳しくない人にとっては分かりにくいかもしれない。</p>
1	とても分かりやすかった	18.2%															
2	分かりやすかった	36.4%															
3	どちらともいえない	36.4%															
4	分かりにくかった	9.1%															
5	とても分かりにくかった	0%															
<p>②事業説明者（県職員）の説明</p>	<table border="1"> <tr><td>1</td><td>とても分かりやすかった</td><td>0%</td></tr> <tr><td>2</td><td>分かりやすかった</td><td>63.6%</td></tr> <tr><td>3</td><td>どちらともいえない</td><td>18.2%</td></tr> <tr><td>4</td><td>分かりにくかった</td><td>18.2%</td></tr> <tr><td>5</td><td>とても分かりにくかった</td><td>0%</td></tr> </table>	1	とても分かりやすかった	0%	2	分かりやすかった	63.6%	3	どちらともいえない	18.2%	4	分かりにくかった	18.2%	5	とても分かりにくかった	0%	<p>事業担当課（県職員）の説明</p> <p>・ ニーズ調査等していない時に言い訳をしない率直な態度は好感的。 ・ 評価者の質問に対して、具体的にわかりやすく説明されていた。 ・ ダラダラ資料を読むだけの説明者もいれば、内容を整理した上で対応する図表も適切に使用して説明できている者もいた。</p>
1	とても分かりやすかった	0%															
2	分かりやすかった	63.6%															
3	どちらともいえない	18.2%															
4	分かりにくかった	18.2%															
5	とても分かりにくかった	0%															
<p>③今後も事業棚卸しを実施すべきか</p>	<table border="1"> <tr><td>1</td><td>とても思う</td><td>36.4%</td></tr> <tr><td>2</td><td>思う</td><td>63.6%</td></tr> <tr><td>3</td><td>どちらともいえない</td><td>0%</td></tr> <tr><td>4</td><td>あまり思わない</td><td>0%</td></tr> <tr><td>5</td><td>思わない</td><td>0%</td></tr> </table>	1	とても思う	36.4%	2	思う	63.6%	3	どちらともいえない	0%	4	あまり思わない	0%	5	思わない	0%	<p>今後も事業棚卸しを実施すべきか</p> <p>・ 事業について県がどんな考えをもっているのか、説明責任を果たす場として今後もやるべき。 ・ 評価者と県職員のやりとりが非常に活発的な場面もあり、ここでの意見が政策形成に反映されるとなお良い。 ・ どんなすばらしい事業でも、社会的背景が変化する中で、県民目線での見直しや修正は必要。</p>
1	とても思う	36.4%															
2	思う	63.6%															
3	どちらともいえない	0%															
4	あまり思わない	0%															
5	思わない	0%															
<p>④その他</p>	<p>・ 傍聴者が少なかったので、広報の仕方を見直して、県民に対して県の考えを伝える場にすべき。 ・ もっと人が集まる場所で開催すべき。 ・ 事業説明の時間よりも、議論の時間の方に多くの時間が割り当てられていたことはよかった。</p>																

9 コーディネーター・評価者名簿

区分	氏名	所属
コーディネーター	細井 由彦	鳥取大学 理事(企画・評価担当、広報担当)・副学長
評価者(7名)	小野 達也	鳥取大学地域学部地域政策学科 教授
	蔵増 保則	鳥取県農業協同組合中央会 専務理事
	野津 あきこ	鳥取短期大学生生活学科食物栄養専攻科 教授
	安達 庸	県民委員(法人職員)
	大津 優衣	県民委員(学生(鳥取大学))
	田中 裕太	県民委員(学生(鳥取環境大学))
	福田 英寿	県民委員
事務局(コーディネーター補佐)	伊澤 勇人	鳥取県総務部行政財改革局長

(敬称略。評価者は有識者委員・県民委員の順に五十音順。)

◆事業棚卸し当日の様子

